



第30回年次研究講演会 論文募集のご案内

主催：特定非営利活動法人日本オゾン協会

日本オゾン協会年次研究講演会は1991年に第1回を開催して以来、2020年度で29回を数え、2021年度は6月17日、18日に大阪府立大学中百舌鳥キャンパスで下記の通り開催する予定です。

オゾンは、安全・安心かつ快適な生活環境の実現を目指して、安全でおいしい水道水づくりや、健全な水循環を構築する排水再利用、水環境を改善・保全するための下排水処理などに利用されています。またプールや水族館の透明度向上、農業分野での成長促進、食品分野での殺菌消毒、また工業分野では生産性向上や環境負荷低減、ホテルや老健施設などでの脱臭・消毒など幅広く利用されており、高効率オゾン発生技術や幅広い分野への適用を目指した利用技術についても研究・開発されています。

こういった様々な分野でのオゾン利用に関し、その研究・開発や、運転・維持管理などあらゆる立場からの情報交換及び討論の場を提供することを目的として年次研究講演会を開催しております。

発表は**研究論文のみならず、速報情報、実験成果や運転管理および事例紹介**も受け付けます。また、発表者は**会員、非会員**を問いません。ふるって発表、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

本協会は特許庁より特許法第30条第1項（実用新案法第11条第1項において準用する場合を含む）の規定に基づく**学術団体**に指定されております。

2020年度第29回年次研究講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなく中止と致しました。2021年度は引き続き新型コロナウイルス禍の影響が懸念されますので、WEB配信との併催を予定しております。

例年、論文募集と同時に参加申込を開始しておりましたが、参加申込開始につきましては、準備整い次第、協会ホームページ等にてご案内させていただきますので、よろしくお願い致します。

記

日 時 2021年6月17日（木）、18日（金）
・6月17日 年次研究講演会
・6月18日 年次研究講演会

※今回は意見交換会は中止と致します。

会 場 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館 多目的ホール
(〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1)

募集論文 論 文 要旨集：A4×4枚、 発表時間：最大15分間
ポスター発表 要旨集：A4×1枚、 発表時間：最大5分間

発表申込期限 2021年2月19日（金）

論文提出期限 2021年4月26日（月）

講演会参加申込期限 2021年6月2日（水）

参加費 年次研究講演会参加費

参加費払込期限	会員（IOA会員含む）及び 公共機関・教育機関	非会員	学生 (要学生証コピー添付)
2021年5月10日（月）まで	17,000円	21,000円	2,000円
2021年5月11日（火）以降	19,000円	24,000円	3,000円

取消料 2021年5月28日（金）までの参加取消50%

申込方法

論文発表申込書に必要事項をご記入のうえ、電子メールまたはFAXにてお申込みください。当協会ホームページ（URL <http://www.j-ozone.org/>）からでも、論文発表申込書（電子データ）をダウンロードできますので、電子メールで送付いただけたら幸いです。

交通案内

- 南海高野線「白鷺」駅下車、徒歩約7分
- 南海高野線「中百舌鳥」駅下車、徒歩約13分
- 地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車、徒歩約13分

詳しくは

<https://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/access/>



問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本オゾン協会 事務局（担当：田村、西島）
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-10 日本橋インテリジェントフラッツ301
TEL：03(6661)1622、FAX：03(6661)1623
e-mail joa@mwd.biglobe.ne.jp
URL <http://www.j-ozone.org/>

■研究・講演の分野

- | | | | |
|------------|-----------|------------------------|-------------|
| A. 発生・発生装置 | B. 計測技術 | C. 吸収・反応器 | D. 反応機構 |
| E. 反応生成物 | F. 促進酸化法 | G. 浄水処理 | H. 工業用水処理 |
| I. 下水処理 | J. し尿処理 | K. 産業廃水処理 | L. 汚泥処理（改質） |
| M. 排オゾン処理 | N. 空気浄化 | O. 消毒・殺菌 | P. 脱臭 |
| Q. 食品 | R. 医療への応用 | S. 製造プロセス工程（紙パルプ・半導体等） | |
| T. 水族館／養殖 | U. プール・スパ | V. 金属腐食・酸化 | W. 貯蔵・保存 |
| X. 実例紹介 | Y. その他 | | |

■キーワード例（以下に該当するキーワードがない場合は追加いただいて結構です）

A. 対象分野（大分類）

1湖沼水, 2河川水, 3地下水, 4海水, 5飲用水, 6用水, 7工業廃水, 8し尿処理水, 9下水処理水, 10生物処理水, 11嫌気処理水, 12モデル水, 13その他, 14大気, 15排ガス, 16モデル排ガス, 17排オゾン, 18汚泥, 19廃棄物, 20食品, 21農林, 22水産, 23合成, 24加工, 25殺菌, 26漂白, 27劣化, 28腐食, 29不活化, 30反応, 31精製, 32治療, 33衛生, 34地球環境, 35装置開発, 36生成効率, 37測定法, 38装置設計

B. 対象分野（小分類）

1浄化処理, 2再利用, 3プール, 4浴場, 5冷却水, 6純水, 7水族館, 8養魚, 9植物栽培, 10空気浄化, 11大気浄化, 12排ガス浄化, 13食品保存, 14食品消毒, 15材料消毒, 16パルプ, 17化成品, 18材料

C. 対象物

1人, 2動物, 3魚介類, 4原生動物, 5植物, 6藻類, 7微生物, 8有機物, 9無機物, 10有害物, 11変異原物質, 12遺伝毒性, 13内分泌攪乱化学物質, 14農薬, 15難分解物, 16生体物質, 17腐食成分, 18異臭味物, 19臭気物, 20色, 21染色, 22界面活性剤, 23モデル物質, 24塩素化合物, 25窒素化合物, 26窒素酸化物, 27リン, 28金属イオン, 29ハロゲンイオン, 30付着物, 31懸濁物, 32BOD, 33COD, 34TOC, 35TOD, 36ゴム, 37材料, 38半導体, 39パルプ, 40石油

D. 技術内容

1単独, 2併用, 3オゾン分解, 4酸化処理, 5生物処理, 6促進酸化処理, 7濾過, 8生物濾過, 9活性炭, 10生物活性炭, 11凝集, 12吸着, 13膜, 14浮上, 15沈殿, 16ストリップング, 17塩素, 18クロラミン, 19二酸化塩素, 20KMnO₄, 21過酸化水素, 22他酸化剤, 23pH, 24温度, 25濃度, 26時間, 27紫外線, 28放射線, 29電子線, 30電磁波, 31超音波, 32添加物, 33触媒, 34電解, 35かくはん, 36生成物, 37分析, 38腐食, 39酸化, 40機構, 41反応速度, 42物質移動, 43反応器, 44生分解性向上, 45実験室規模, 46パイロット, 47実装置, 48管理, 49制御, 50設計, 51法規, 52規格, 53技術評価, 54経済評価, 55比較評価, 56展望, 57アセスメント, 58数学モデル, 59シミュレーション